



市政を問う

9月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

今定例会では、5名の議員が質問を行いました。

● 代表質問

(1) 鈴木章司議員 (清風会&公明) 10 ページ

- ①借入金残高は 357 億円からどう増減したのか
- ②運営委員会からの提言にどう取り組んでいくのか

(2) 小原丈司議員 (山と川の街大月) 11 ページ

- ①市道等の整備計画と今後の予定は
- ②宮谷簡易水道の東部地域広域水道企業団への統合の考えは

(3) 藤本 実議員 (日本共産党) 12 ページ

- ①第7期介護保険事業計画の策定は
- ②「介護の聖地」の将来像は

● 一般質問

(4) 小林信保議員 13 ページ

- ①「宿泊施設の誘致に関する条例」を制定し、ホテルの誘致を
- ②インバウンド観光に対する考えは

(5) 鈴木基方議員 14 ページ

- ①東部広域連合で共通の課題を処理できないか
- ②猿橋学童保育施設の建築手法は

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録(12月上旬発行予定)を図書館及び市のホームページ(<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>)で閲覧することができます。



清風会 & 公明
鈴木 章司

Q 借入金残高は357億円からどう増減したのか

A 平成28年度末には約58億円減少して299億円余りとなる

問 石井市長が市長就任以来、10年が経過し、市立中央病院の運営は、多額の赤字補てんが支出された半面、財政健全化として、市全体の借入金残高が減少していると聞いています。

そこで、借入金残高は、平成18年度末の357億円からどのように増減したのか。また、今

後の見通しは。

答 市長

地方債の借入額を元金償還額以下に抑えることにより、借入金残高は、平成18年度末の357億円余りが、平成28年度末には約58億円減少して299億円余りとなる、そのような見込みです。このように、借入金

減少は、普通会計だけではなく、下水道や企業団等の事業におきましても、事業精査を行う中で地方債の抑制を図ってきた結果である、と、どのように考えています。しかし、施設整備に投資するため、地方債を借り入れることは施設を使用する世代間負担の公平化を図る上で有効な財政手法でもあります。

今後の財政見通しについては、防災行政無線のデジタル化等の大型事業が来年度以降も予定をされていますが、事業の優先順位を検討しながら、地方債残高を減らすためにも、借入額は元金償還額以下に抑える、このことを念頭に予算編成を行い、事業を執行したいと考えています。

したがいますして、このような予算編成をしていく中で、借入金残高は引き続き減少すると見込んでいます。さらなる財政健全化に向けた行財政改革を継続してまいります。

Q 運営委員会からの提言にどう取り組んでいくのか

A 佐藤院長による新たな体制のもと、職員全体で経営改善に取り組む

問 中央病院の健全化のため、小委員会が設置され、提言がなされましたが、その内容は中央病院の診療の在り方、経営改善の方策等です。この提言に対し、どう取り組むのか。

し、当直体制や救急受け入れ態勢の見直し、健診センターの強化、北都留医師会との連携強化などです。診療科、診療日数等については、市民の皆様や患者さんの要望もあり、さらに関係する大学病院の医局との協議等も必要ですので、内容を確認しながら慎重に検討します。また、経営形態の見直しについては、指定管理者を第1候補とすることが望ましいとの提言ですが、佐藤院長による新たな体制のもと、今後も職員全体で経営改善に取り組んでまいります。

答 病院事務長

当院の院長に佐藤二郎先生が就任し、新たな体制のもと、現在院内の管理職員で構成する企画会議で、提言項目について一つ一つ、早期に対応すべき項目と中期に取り組む項目に分類し、検討を行っており、早期に対応すべき取り組みは、診療科、診療日数等の見直



山と川の街大月
小原 文司

Q 市道等の整備計画と今後の予定は

A 総合的な道路整備計画の策定に着手したい

問

大月市まちづくりについて、大月駅北側から高月までの賑岡線拡幅の進捗状況と、猿橋駅周辺開発に欠かせない猿橋駅北口と宮下橋を結ぶ直線道路の考えは。また、猿橋南口殿上線拡幅は。

答 市長

市道大月賑岡線の拡幅事業については、今定例会に補正予算案を提出いたし、議決をいただいた後に地形測量業務委託を発注し、沿線の方々の安全確保を第一に、市民会館入り口の交差点改良等もあわせた総合的な道路整備計画の策定に着手したいと考えています。

今後、土地所有者並びに地域住民の皆様には、測量作業の現地立ち入りに伴い、説明会を実施して意向を確認する中で、事業に対するご理解、ご協力をいただけるように対応いたします。

次の猿橋駅北側へのアクセス道路である県道猿橋停車場線の改良については、現在の県道猿橋停車場線と国道20号の交差点は、信号機もなく、道路幅員も狭いことから国土交通省も危険箇所として把握しています。また、駅北口は、公道に接していない住居や空き家が多く存在することから、土地区画整理事業等の手法を用いた面的な整備により、県道猿橋停車場線が宮下橋交差点から駅北口まで直接つながる道路となるように県に要望してまいります。

点から駅南口までの区間に活道路ですので、市道整備については、桂台地区を含め、駅周辺の皆様にとりまして、勘案しながら事業を進めて回遊性確保のため重要な生まいます。

Q 宮谷簡易水道の東部地域広域水道企業団への統合の考えは

A 地区住民の合意形成が整った時点で再度検討する

問

簡易水道の上水道への統合について、宮谷簡易水道を整備して東部地域広域水道企業団への統合の考えは。

答 産業建設部長

既に間明野・桑西地区との統合に向け、計画協議中であり、真木地区の施設整備案件と初狩地区の一般廃棄物処理施設建設に伴う覚書に定める地域振興事業の初狩西部4地区の統合整備案件を手がけています。

これらの施設整備には、多額の費用が見込まれることや、起債償還金を公費により返済することとなるため、複数の事業を同時着工することは、財政的にも困難な状況です。過日、宮谷地区の代表者や水道組合の役員の方々には、それらの状況の説明を行っておりますので、今後、宮谷地区住民の合意形成が整った時点で、上水道への統合整備計画を再度検討してまいります。



日本共産党
藤本 実

Q 第7期介護保険事業計画の策定は

A 認定率の過度な引き下げはしない

問 来年4月からの第7期介護保険事業計画について、介護サービス量の見込みはどのように設定するのでしょうか。要介護認定率の過度な引き下げを目標にすべきではないと思いますし、サービス削減のためにケアマネに不当な干渉はすべきではない

と思いますが、いかがでしょうか。

答 保健介護課長

第7期計画についてであります。介護サービス量の見込みについては、市民アンケート調査、ケアマネジャーへのアンケート調査等により、必要とされる施設

等を検討し、国の見える化システムにより、過去の実績から将来推計を算定し、コンサル等の意見も参考とする中で、介護保険事業計画策定委員会に諮り、大月に必要なサービス量を定めることとなりますが、認定率の過度な引き下げについては考えていません。

また、必要な人に必要な支援を行うこと、地域が一体となり支え合うことが重要であることから、ケアマネジャーに不当な干渉を行うことはありませんので、ご理解をお願いいたします。



発行…大月市市民生活部
保健介護課
編集…地域資源マップ委員会・保健介護課
協力…大月市地域包括ケア推進会議

Q 「介護の聖地」の将来像は

A 誰もが安心して暮らせるまち大月

問 石井市長は、選挙のマニフェストに介護の聖地を掲げました。その理念と将来像を明らかにしていただきたい。

答 市長

誰もが安心して暮らせるまち、そして自分らしく、住みなれた大月で暮らし続けていくためには、市内に介護施設、福祉施設、教育施設等を誘致し、拠点づくりをすることにより、施設の有効利用、また介護職員の確保などにつながり、必要な人に必要なサービスの提供ができるのではないかと考えています。

誰もが安心して暮らせるまち、それが「介護の聖地」につながると考えていますが、今後も全ての市民が安心して暮らせる「癒やしのまち」の実現に向けて努力していきたいと考えています。

本市には多くの資源があ



小林 信保

Q 「宿泊施設の誘致に関する条例」を制定し、ホテルの誘致を

A 新たな条例を整備しなくても現時点で対応できる

問 「宿泊施設の誘致に関する条例」を制定し、ホテルの誘致に向けた取り組みを加速すべきではないか。

は、企業の誘致と同様に、非常に重要な施策だと考えています。

答 産業観光課長

これからの本市の観光、産業振興を考えたとき、ホテルなどの宿泊施設の誘致

市では、企業の誘致に対して、大月市企業立地促進条例により優遇措置を講じており、その対象施設は工場、研究所、情報通信業のほか、産業の振興及び雇用の創出を図るものとして宿泊施設も該当しています。

新設の場合、投資した固定資産額が5、000万円を超えること、もしくは新規雇用者が20名以上であれば条例に適合し、企業立地奨励金や雇用促進奨励金を助成することができるとも現時点で対応できるものと考えています。

再質問

問 ホテルの建設に、4億円の事業費が想定される場合、出すことのできる奨励金は幾らか。

答 産業観光課長

4億円という事業費、そのうちの建築費が例えば3億円だった場合は、それに固定資産税評価額を約7割と見込んで、固定資産税1・4%を掛けると、おおむね300万円程度となり、3年間にわたり奨励金として交付されることとなります。

Q インバウンド観光に対する考えは

A インバウンドと呼ばれる外国人観光客を積極的に受け入れていく

問 インバウンド観光に対する考えと今後の取り組みは。また、外国人向けのPVの作成と発信から始めてみてはどうか。

答 産業建設部長

駅周辺の飲食店でも外国人利用もふえてきています。インバウンドと呼ばれる外国人観光客を本市としても積極的に受け入れていく必要があります。PVは、観光だけでなく、移住に向けた市の情報発信として一定の効果が期待できることや、市のイメージアップにつながるようになります。

本市の観光名所だけでなく、自然景観や大月独特の魅力ある資源を生かすとともに、今後庁内で議論する中で、予算措置等を講じることにも検討してまいりたいと考えています。



富士急行線改札口



鈴木 基方

Q 東部広域連合で共通の課題を処理できないか

A 業務を検討し経費節減と住民福祉の向上を図りたい

問 山梨県東部広域連合で、共通の課題を処理できないか。また、広域行政のあり方、構成市村との連携について、どう考えているか。

答 企画財政課長

東部地域の3市3村で構成している山梨県東部広域

連合で管理運営する大鶴楽生園は、今年度で閉園する手続が進められています。現在新たな広域行政事務を模索しているところで、近隣の自治体との協議の上で、共同処理できる業務についての検討をすることで、経費の節減と住民福祉の向上を図ってまいります。

問 病院のあり方、消防のあり方など、将来的にいかがお考えか。ごみ処理については地元と話ができていますか。

答 病院事務長

広域連合で広域化再編ネットワーク等を検討することは難しいと考えています。当院としては、これまでも可能なことから、それぞれの病院と連携を図っているところですが、高齢化や人口減少が進み、医療需要も変化していくことが予想され、病院間の連携はますます重要となります。そこで、それぞれの病院と院長を初めとする医師同士の顔の見える関係を築きながら、できることから連携を行い、東部圏域の医療水準の向上を図ってまいります。

答 消防長

現在の消防業務において

は、大月市、都留市、上野原市の3市において消防指令センター大規模災害訓練及び防火管理講習会について共同運用を行っています。このような連携が今後の消防広域化に向けた糸口になればよいと考えていますので、引き続き3市で連携を図りながら調査研究を継続していくことが必要であるとと考えています。

地元初狩町の方々との話につきましても、昨年3月の期間延長の申し込み後、基幹的設備の改修工事の着工と新処理施設が整うまでの使用期間延長のお願いについて、地元の皆様にご理解いただけますよう丁寧に説明をしているところです。

Q 猿橋学童保育施設の建築手法は

A 軽量鉄骨造を採用

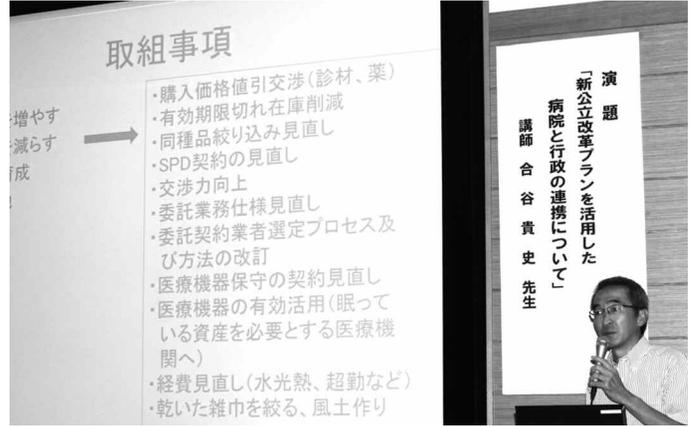
問 猿橋学童保育施設の建築手法について、どのような方式をとるのか。

答 市民生活部長

建築手法につきましては、施工性がよく、耐震性、防

火性、コスト面等の総合的な判断と、周辺の皆さんに長期に迷惑をかけないよう、工期が短い工法である軽量鉄骨造を採用しました。

大月市議会主催事業 3市3村 議員・職員合同研修会
「病院と行政の連携について」



私たちは単なる「コンサルタント」ではない、
 徹底した現場主義の「DOSULTANT」です。
 病院職員と共に汗をかきながら協働するをモットーに活動しています。

「経営」には「医療の質」と「財務」が必要！
 「医療の質」は現場が、「財務」は事務職が、「経営」は皆で頑張りましょう！

地域医療を守るには医療連携が必要であるため、都留市、上野原市、小菅村、丹波山村、道志村の議員・職員に出席を依頼した結果67名の参加をいただき、合同研修会が盛大に開催されました。本市からは、中央病院の佐藤新院長をはじめ副市長他、多くの方に参加をさせていただきました。

講演では、病院の使命と役割を明確に掲げて職員に浸透させることや病院の経営改善の取り組みをわかりやすく見える化し、情報共有して意識を統一させることが重要で、

中にある職員がこの病院で頑張りたいと思わないとだめ「やればいいんだしょ」と「よしやるんだ」という意識では出てくる成果が大きく違う。ということでした。

議会日誌

9月

6日	大月市議会基本条例調査特別委員会
7日	全員協議会 平成29年第3回(9月)市議会定例会開会 決算審査特別委員会
20日	代表質問・一般質問
22日	総務産業常任委員会 大月市議会基本条例調査特別委員会 大月市地域活性化対策調査特別委員会
25日	社会文教常任委員会 3市3村議員・職員合同研修会
27日	決算審査特別委員会
28日	決算審査特別委員会
29日	決算審査特別委員会

10月

3日	議会運営委員会 全員協議会 平成29年第3回(9月)市議会定例会閉会 市議会広報委員会
17日	大月市議会基本条例調査特別委員会 議員定例懇談会
19日	山梨県市議会議長会第258回定期総会
24日	意見交換会(文化協会×市議会)
26日	全国自治体病院経営都市議会協議会第13回地域医療政策セミナー
27日	平成29年第2回山梨県後期高齢者医療広域連合議会定例会

11月

1日	全国広域連携市議会協議会第67回理事会
2日	大月市議会基本条例調査特別委員会
6日	議会運営委員会 市議会広報委員会
9日	総務産業常任委員会行政視察研修【群馬県高崎市】
10日	総務産業常任委員会行政視察研修【群馬県吾妻郡東吾妻町】
14日	社会文教常任委員会行政視察研修【静岡県三島市・静岡市】
15日	社会文教常任委員会行政視察研修【静岡県袋井市】

議員はあいさつ状(年賀状等)を出すことが公職選挙法で禁止されています。(自筆による答礼は除く。)

あなたも 本会議を傍聴しませんか

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

12月定例会の日程(予定)

(開会日) 11月29日
(代表質問・一般質問) 12月11日
(閉会日) 12月15日

※定例会前の議会運営委員会で正式に決定されますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

市議会広報委員会委員の改選が行われ、委員長に私、鈴木基方、副委員長に小林信保議員が新たに選出されました。委員会メンバー一同、市民のみなさまに市議会の内容をお伝えする広報誌として、さらにわかりやすく、また内容も充実させていきたいと考えておりますので、市議会だよりを今後ともよろしくお願い申し上げます。(担当 鈴木基方)



委員長 鈴木 基方



副委員長 小林 信保

市議会広報委員会

大月市議会事務局

編集・発行

〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp

市議会
広報委員会

委員長 鈴木 基方
副委員長 小林 信保
委員 小泉二三雄
委員 鈴木 章司
委員 藤本 実
委員 相馬 力



この市議会だよりは、資源保護のため再生紙を、環境保護のため大豆油インクを使用しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。